

Hola Japón（11月21日（水）、22日（木））及び

日・ベネズエラ両国の小学生の交流プロジェクト（11月27日（火））の実施

「スクール・キャラバン Hola Japón」を、11月21日（水）、アンドレス・ベジョ・カトリック大学のカルロス・ギジェルモ・プラサ・カルチャーセンター、翌22日（木）にはアンドレス・ベジョ・ボリバリアーノ学校講堂において実施しました。

館員による簡単な日本語、地理、気候、貨幣、慣習、文化等の紹介をするとともに、折り紙教室では、「兜」を折ってみる体験も実施しました。ツナミ・プロダクションのイリアーナ・タピア氏による侍のコスプレの披露もありました。

また、11月27日（火）には、フアン・デ・ディオス小学校において、日・ベネズエラ両国の小学生の絵の交換が行われました。このプロジェクトは、駐日本イシカワ大使と駐ベネズエラ岡田大使の発案によるもので、日・ベネズエラ外交関係樹立80周年を記念して日本とベネズエラの文化交流を活発にするためのものです。

日本からは、愛知県豊橋市大清水小学校の児童が描いたベネズエラを象徴するエンジェル・フォールやカタトゥンボの稲妻、ワライラ・レパーノのロープウェー、ピンクイルカなどを題材にした絵が贈られ、フワン・デ・ディオス小学校からは、桜、鯉、富士山などが描かれた絵が贈られました。

多くの児童が、マンガやアニメなどの日本に関わりのある事柄を館員に尋ねるなど、ベネズエラにおける日本文化の関心の高さもうかがえ、大盛況の下、「Hola Japón」が締めくくられました。



